

事務事業	55	文化・芸術活動への区民参加の促進						
章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち						
大項目	02	個性ある地域文化づくり						
施策	01	地域文化活動の活性化						
事業内容								
目的	自主文化団体の形成・育成・活動を促進することで、地域文化活動の活性化と文化意識の向上を図ります。							
対象・手段	新宿区内に在住、在勤する潜在的な文化活動の愛好者のために、新しい自主文化団体が形成される機会を設けます。また、新たなグループ育成・活動環境を支援します。							
成果(事業が意図する成果)								
自主文化団体の形成・育成・活動を促進することにより、文化活動を通して、地域文化活動の活性化と文化意識の向上を図ります。								
事業成果指標								
指標名	定義	目標水準						
登録文化団体数	営利を目的としない区内の文化団体等で、新宿文化・国際交流財団の「文化団体の登録等運用基準」により登録を行ったもの	(平成19)	年度に (40団体)の水準達成					
		()	年度に ()の水準達成					
		()	年度に ()の水準達成					
成果の達成状況								
	単位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備考		
事業成果指標	目標値1	団体	0.00	0.00	40.00	40.00		
	実績1	団体	0.00	0.00	44.00	41.00		
	= /	%	0.00	0.00	110.00	102.50		
	目標値2		0.00	0.00	0.00	0.00		
	実績2		0.00	0.00	0.00	0.00		
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00		
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00		
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00		
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業の実施内容							
	平成17年度	文化活動参加への入り口となる、参加型の音楽関連講座の実施 自主文化団体の登録制度の実施 自主文化団体への活動支援						
	平成18年度	参加体験型プログラムの実施、低廉な活動場所や活動情報の提供を行うとともに、団体登録制度については、要件を緩和するなどにより、さらなる文化活動の活性化を図りました。						

部名称		地域文化部			課名称		文化国際課	
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考	
トータルコスト	事業費	千円	0	0	0	0	財団法人新宿文化・国際交流財団の事業です。	
	人件費	千円	0	0	0	0		
	事務費	千円	0	0	0	0		
	減価償却費等	千円	0	0	0	0		
	総計 = + + +	千円	0	0	0	0		
	受益者負担	千円	0	0	0	0		
	純計 = -	千円	0	0	0	0		
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00		
財源内訳	一般財源 = -	千円	0	0	0	0		
	特定財源		0	0	0	0		
	一般財源投入率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00		
職員	常勤職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00		
事業に関する検討課題								
<p>区民の文化団体への参加や新たな文化団体の結成などを促進するため、優先受付、施設の使用料の減免、情報提供、参加体験型プログラムの実施などを適切に組み合わせて、さらに効果的に実施する取組みが必要です。</p>								
評価基準に基づく評価と理由	達成度	2	文化団体への区民の参加の促進、文化団体の活性化を図るため、参加体験型プログラムとして新宿区合唱祭、パイプオルガン講座、キッズ・ミュージカル等を実施し、また、文化団体への低廉な活動場所の提供や団体情報の共有化等を行いました。					
	効率性	2	個人に対しては、参加型の文化講座の実施、文化団体へは文化団体登録制度に基づく活動場所、情報の提供などを行いました。これらの参加の促進と活動への支援という取組みは、地域文化活動の活性化という観点から、効率的であると言えます。					
	実施の成果	2	過去5年間の登録団体数は、35、41、37、44、41と増減がありますが、毎年一定数の団体が登録され、活動をしている状況から、事業実施の成果が現れていると言えます。					
	行政の関与	3	地域文化活動の活性化のためには、低廉な活動場所の提供、文化団体の活動情報の共有化、参加体験型プログラムの提供等の支援が欠かせません。これらは、採算性の問題等から民間では実施が難しく、区の関与は妥当と言えます。					
	妥当性	3	地域文化活動の活性化のためには、新たな参加を促すことや活動を継続するための支援が不可欠です。参加体験型プログラムの提供、低廉な活動場所の提供、文化団体の活動情報の共有化等は、そのための方法として妥当と言えます。					
	施策寄与度	3	地域文化活動の活性化のためには、文化団体の自主的な活動は不可欠です。多様な自主文化団体が登録し、活動している状況から、この事業は、施策目的へ寄与していると言えます。					
総合評価	文化活動へのきっかけとして参加体験型プログラムを実施し、文化団体の活動への支援として低廉な活動場所の提供、団体情報の共有化を行うなどにより、地域文化活動の活性化のための事業を総合的、効果的に行えました。加えて文化団体が団体登録を行いやすいように、登録要件を緩和しました。これらの取組みにより、地域文化活動の活性化を図ることができました。						B	
							過年度評価	
改革方針	新宿区合唱祭が区内の36合唱団体の参加で行われたように、文化団体同士の連携を図ることで、その活動を促進していきます。そのため、登録団体の懇談会や合唱連盟、民謡連盟等の連盟組織を活用し、団体同士のつながりを強化していきます。また、文化団体の活動が促進されるよう、優先受付制度や施設の使用料減免の活用など、活動の支援を行う仕組みを検討していきます。						方向性	
							1	
							現状のまま継続	